

# 令和7年度ふなばし結核情報

## ～高齢者の方・支援する方々へ～

発行：船橋市保健所健康危機対策課 結核感染症係

☎047-409-2867



## ふなばし結核情報とは？

船橋市の結核についての現状をお知らせし、結核感染の拡大を防ぐために、令和3年度より年1回程度発行することとしました。

# 結核は過去の病気ではありません！

結核は、今でも毎年10,000人以上の新しい患者が発生し、約1,500人が命を落としている日本の重大な感染症です。

チェック！

こんな症状はありませんか？

結核を疑って  
医療機関を  
受診しましょう

★痰(たん)・咳・微熱・身体のだるさが2週間以上続く

★食欲がない・いつもより活気がない・寝汗をかく・急な体重減少がある

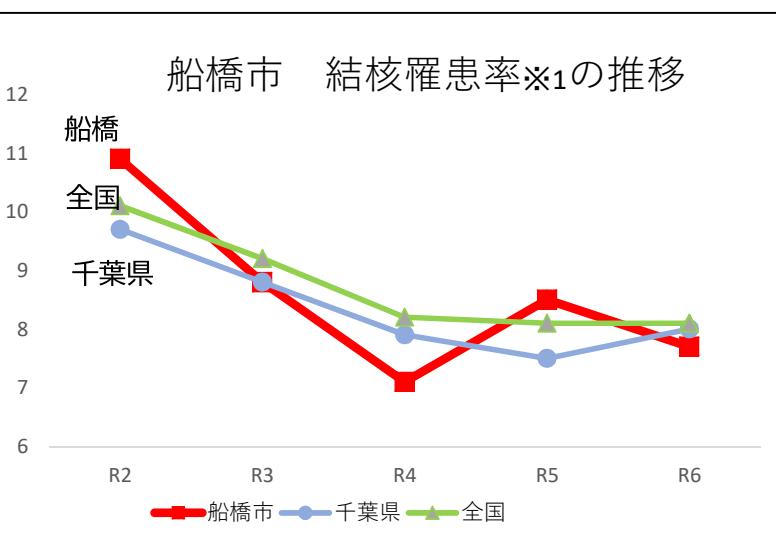
### 結核発病の危険が高い人は？

- 喫煙習慣がある人
- 胃潰瘍、胃の手術をした人
- 糖尿病の人
- H.I.V感染や免疫の弱い人
- ステロイドホルモン治療をしている人
- 結核高まん延国からきた外国生まれの人
- 人工透析をうけている人

★高齢者ははっきりとした症状が出ないことがよくあります。

★症状がなくても  
年に1回は胸部エックス線検査を受けましょう。

## 船橋市の結核



船橋市の結核新登録患者数は、令和5年は増加しましたが、令和6年は再度減少に転じました。

全国的に高齢者が多く、船橋市では60歳以上の方が7割を占めます。

結核は、まだまだ注意が必要な病気です。

# こんなことがありました...

## <事例1>

60歳代。具合が悪いことが多くなり、歩くだけで息切れをしていたが、受診を嫌がり、自宅で様子を見ていた。4か月後には寝たきり、6か月後には動けなくなつたため、医療機関へ救急搬送。胸部CT検査にて異常あり、結核を疑われて入院。痰の検査で結核菌が検出され、肺結核と診断される。

## <事例2>

70歳代。咳が出て医療機関を受診し、喘息と診断される。その後も咳が続いていたが受診せず。8か月後からは痰も出ていた。そのころに住民健診を受けたところ、要精密検査と判定される。医療機関を受診し、胸部X線検査で異常あり、痰の検査で結核菌が検出され、肺結核と診断される。

チェック!

結核は早期発見・早期治療をすることで、きちんと治る病気です。  
症状が続くときは、早めに医療機関を受診をしましょう。

## Q & A

### Q. どうやって感染するの？

A. 結核は空気感染します。

菌を出している肺結核患者の咳やくしゃみなどの「しぶき」と一緒に結核菌を吸い込むことで感染します。



### Q. 結核の治療は？

A. 6～9か月、複数の薬を毎日飲みます。

結核は、決められた期間薬をきちんと飲めば治ります。その期間中に薬を飲まなくなると、薬が効かない耐性菌を作り出してしまい、治療が長くなったり、重症化する危険性があります。

薬を飲み忘れることなく、決められた期間で飲み切ることが大切です。

### Q. 感染したら他の人にうつすの？

A. 感染しただけでは人にうつしません。

結核菌に感染しても、症状が出ていない時は、免疫の働きで結核菌を抑え込むことができ、発病しません。加齢や病気などで免疫が落ちると、結核菌が動き出して発病し、他の人にうつす可能性が出てきます。

結核についてもっと  
知りたい方はこちら



船橋市ホームページ

船橋市の結核予防啓発キャラクター  
DOTS船隊結核やっつけるんジャー

